



年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。年末年始は外出や来客なども多く、生活リズムが乱れがちです。また、感染症も流行る時期です。11月は、本園では水痘（水ぼうそう）、分園ではヘルパンギーナ、手足口病に罹ったお子さんがいました。体調管理には十分気を配り、元気に新しい年を迎えましょう。

尿検査のお知らせ

12月7日（火）に配布します。

12月8日（水）～10日（金）が提出日です。9時までに提出して下さい。

尿は、提出日当日の朝に採取して下さい。

園での採取は保育に支障が出ます。

必ず自宅で採取して下さい。

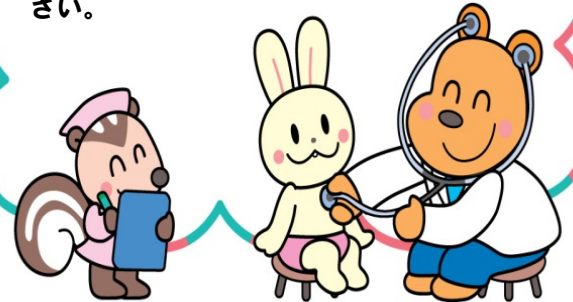
期限内に提出していない場合は、12月13日（月）～17日（金）までに、**各自で中部地区医師会立成人病検診センターへ提出して頂きますのでご了承下さい。**（検診センターへは9時～12時までの提出です。）

内科検診のお知らせ

12月8日（水）9時から

分園終了後、本園の健診を行います。

日頃気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにとても大切です。医師に聞いておきたいことなどがあれば、お知らせ下さい。



水痘（水ぼうそう）

主な症状

潜伏期間は、2～3週間。微熱が出ると同時に体のやわらかいところに発疹ができ、半日から1日で顔、口の中、胸、背中、手足から頭皮の中にまで、全身に広がります。直径2～5mmくらいの赤い斑点で、1～2日で中央に水疱ができて、かゆみも出てきます。水疱は、はじめは透明で次第に中が白っぽく濁ってきて、1～2日過ぎると、乾いて黒っぽいかさぶたになります。

登園の目安

すべての発疹がかさぶたになるまで登園停止となります。医師から登園許可がおりましたら、園に備えてあります「登園許可証明書」に保護者が記入、捺印し提出するようお願いいたします。

ヘルパンギーナ

喉の痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、嘔吐が見られたり、食欲が著しく低下していたり、水分をとれないような時は、速やかに病院を受診しましょう。

症状

- ・38～40℃の高熱が2～3日続く
- ・喉の奥が赤くなり、小さな水疱やかいようが見られる
- ・喉の痛み
- ・食欲不振
- ・下痢や嘔吐がみられることもある
- ・水分補給を嫌がり、脱水症状を起こすこともある

ケア

- ・風邪と同じケア
- ・こまめな水分補給
- ・のどごしと消化のよい食事